

<p>第 1 5 2 号</p> <p>平成 3 0 年 7 月 1 日</p> <p>発 行</p>	<p>働く願いを</p>  <p>みんなのものに</p>	<p>社会福祉法人 いなりやま福祉会</p> <p>〒387-0021 千曲市稲荷山 2046-1</p> <p>TEL026-272-6645 Fax026-272-6646</p> <p>E-mail:mantennohoshikirakira@ybb.ne.jp</p> <p>https://inafuku4.jimdo.com/</p> <p>発行人 酒井 勇幸</p>
---	---	--

法人役員会開催

平成 29 年度いなりやま福祉会事業報告・

決算報告承認される

平成 30 年 6 月 20 日開催の評議員会において、上記事項の審議がされ承認されました。

役員会に提出した理事長の報告を全文掲載します。

事業報告（はじめに）

1 生活介護事業所「はなたば」建設

29 年度最大の事業は何といても生活介護事業所「はなたば」の新たなるスタートである。前年度より進めてきた工事が、6 月末引き渡しとなり 7 月 1 日付、20 名定員として県の認可を受けた。

平成 22 年に 10 名定員で始めた生活介護事業は、年々利用を希望される方が増し、15 名の登録者となり共同作業所の 2 階では狭すぎて、部屋の中での移動も体を寄せ合う状態であった。交代で散歩に出る等支援する職員は工夫をこらしながらも、日々の活動に支障をきたしていた。特に精神的にストレスを受けやすいとか、自分の気持ちを適切に表現できにくい利用者さんには過酷な環境であったと思う。

新しくなった建物では、十分な広さの活動室でグループごとの作業や活動をしながら“皆の中の自分の場所”を確保できる安心を感じている利用者さんが多いと思われる。また、個室を用意したことにより、静かな環境の必要な方の要望にも応えることが出来、落ち着いた雰囲気でも活動できている。職員からも支援しやすくなったとの声があり、1 月には登録者 20 名となった。土地の借用料、銀行からの借入金返済等経費もかかるが、安定した経営ができるよう努めたい。

共同作業所では、はなたば移転に伴い定員を就労移行 6 名、就労継続 B 型を 14 名、合わせて 20 名の定員として認可を受けた。

満天の星からはなたば 1 階に移転した給食業務は、広い厨房、新しい設備に加え職員も 2 名から 3 名に充実することが出来た。

開設当初 30 名程度の食事を想定した給食室で 80 食も作る作業は大変な苦労だったと思う。給食の提供は、当会が大切にしていることの一つであり、家庭で十分な食事を摂ることが難しい利用者さんがいる現状では、給食業務の充実が図れたことは良かった。

2 グループホーム入居定員の変更と短期入所受け入れについて

短期入所を利用していた 1 名の方が、利用期間が 2 年を超えることとなった。そのため「たんぽぽの家」の短期入所事業を 10 月 31 日付で廃止、11 月 1 日付入居利用定員を 5 名から



生活介護事業所「はなたば」全景

6名に変更、認可を受けた。これによりグループホーム全体の利用者数は17名となり、短期入所定員は「こんぺいとう」1名「ふっくら」2名の計3名とした。

短期入所については、利用者や家族の要望に応えるべく努めてきたが、年間受け入れ総数は延1,472名となった。

親の入院、遠方の親戚の不幸、また市の相談室からの要請で緊急に短期入所された方が何人かあった。このようなことは、これからも想定されるので柔軟に対応できる体制をとっていきたい。

3 利用者の作業による事業収入の努力

前年度より力を入れてきたJR豪華列車四季島の、お客様が姨捨駅ラウンジで使用される千曲染めナプキンについては1,000枚を超える納品を通して、染物の作業充実を広く社会へ知らせることが出来た。その成果で平成30年度も受注することが出来たのは喜ばしいことである。

いな福のさくさくせんべいについても、県主催のイベント「障がい者週間」に再度使ってもらうことが出来、その上当日配られたせんべいを手にした長野県テクノ財団よりイベント用に受注した。また、道の駅中条のイベントでも黒千石の豆（中条地域で採れる豆）を入れた製品を受注するなど、今後の製品作りに期待が持てる。

自主製品や下請け関係の作業に加え、清掃業務や畑作業などを努力した結果、施設外就労の制度からの報酬を受けることが出来た。

皆さんの努力により、事業収入が2,000万円を超え、消費税も461,200円納付することにもなった。利用者の皆さんの工賃アップはもちろん、働くことへの自信や、やりがいを感じられるようになってきていると思われる。

4 社会参加

当会が力を入れてきた社会参加を支援すること、つまり地域の行事や各種団体の行うイベントなどへの参加についても積極的に取り組んできたが、年を重ねる毎にその回数が増えている現状である。詳細については、各事業報告を参照していただきたい。

5 29年度決算額

はなたば建設関係の収支も含め総額5億1千万円を超える額となった。

今年度も多くの方々のご支援をいただきながら運営できたことを感謝したい。

当会では、利用者さんへの送迎の便宜を図ることに力を入れており、朝夕の送迎には10台の車が各方面へ運行している。また作業や行事などに車両は欠かせず、購入後20年以上経た車も大事に使っている。

そのような中、29年度の共同募金会からの配分金に合わせ原山こどもクリニックの原山院長先生のご配慮により送迎用車両の購入ができたことはとてもありがたいことである。

毎年多額の寄付をしてくださる方や、折々にお米や野菜、果物などご寄付頂き、支援する会会員の皆様のご支援など感謝の日々である。
(理事長 酒井 勇幸)

いなりやま福祉会の一大イベント もうすぐです！

第7回いな福まつりふれあい大バザー 7月29日(日) 9時～12時

当日は満天の星会場、はなたば会場の2施設を開放し、様々な催しを計画しています。

満天の星会場では、例年好評の寝具や食器等の不用品バザー、自主製品販売、菅平高原の朝採り野菜の販売、焼きそばやフランクフルトなどの販売も行います。長年出店していただいています「支援する会・きらり」の製品は今年のお祭りをもって販売活動を休止することとなりました。

それに伴い閉店セールを行います。
牛乳パックを活用した椅子や猫の消臭
剤など、お気に入りの製品がありまし
たらぜひお買い求めください。



イベントのコーナーでは、アカペラ
グループ「長男坊」、チアダンスの「稲
荷山プリティエンジェلز」、手話サー
クル「つばさの会」をお招きし、歌やダンスの楽しいステージでお祭りを盛り上げていただきます。

はなたば会場では企画展として、大谷悠治おおたにひさはるさんの水墨画作品展を行います。大谷さんは地元千曲市
内に在住される自閉症の方です。私たちと同じ就労支援施設に通いながら、地域で働き地域で生きる
仲間の一人です。

スキーでは世界大会に参加経験があり、ラジオ体操のピアノ演奏も得意だそうで、多才な大谷さん
に驚きます。そんな大谷さんが学校時代に出会った「墨」。従来の水墨画らしい作品だけでなく、日
常を切り取った題材や、筆だけではない表現方法など、墨を楽しんでいる様子が伝わってくる作品の
数々です。

お祭り当日は、かき氷、コーヒー、オレンジジュースの1杯無料提供もごさいます。皆さんに楽し
んでいただけるよう準備をすすめています。お誘い合わせの上ご来場ください。

(支援員 柏原 美奈子)

バザーコーナーで販売する物品を集めています。ご自宅に眠っているものが他の方には掘り出
し物となるかもしれません。回収の相談も受け付けています。ご協力をお願い致します。

防災訓練で煙を体験しました！

5/22(火)に防災訓練を行ないました。防災訓練は毎年5月・10月の年2回実施しています。
今回の防災訓練では、初めて『煙体験ハウス』を使った避難誘導訓練を行ないました。煙体験ハウス
は煙を充満させた専用のテントで、入り口から出口まで10mほどの大きさです。煙体験ハウスは、火
事の際に煙に覆われて視界を遮られてしまった状況を想定しての避難訓練で、更埴消防署の隊員の
の方々に来所頂き、指導を受けながら実施しました。

テントの中は1m先も見えないほどで、方向感覚も失われます。僅か10m先の出口を目指すにも、
壁を手で伝いながらでなければ真っ直ぐ歩けず、不安な気持ちになってしまいますが、仲間の皆さん
も真剣な面持ちで、訓練に臨んでいました。仲間も職員も、全く前が見えなくて驚いたと言っていま
したが、どれほど煙が怖いか分かって良かったとの感想を持ったようです。

もし本当の火事の際に煙に覆われても、今回の訓練を思い出して、落ち着いて行動できればいいで
すね。仲間にとっても、職員にとっても、本当に良い訓練になったと思います。

(支援員 住澤 祐樹)

避難の際の約束

ハンカチ等で鼻・口を覆いましょう！
出来るだけ姿勢を低くしましょう！
落ち着いて逃げましょう！



【夏季販売事業】 今年度もよろしくお願ひします

☆夏季・冬季と毎年2回行っている販売事業ですが、各種団体や企業、商店、地域の皆様には毎回多くのご協力をいただきありがとうございます。

販売事業の収益は、利用者の皆さんの働くことの楽しさや、喜びを増すための財源とさせていただきます。今回も多くの企業の皆様のご協力をいただき、魅力的な商品をたくさん取り揃えております。

皆様のご注文をお待ちしております☆

(支援員 上原 一輝)

新しい仲間が増えました



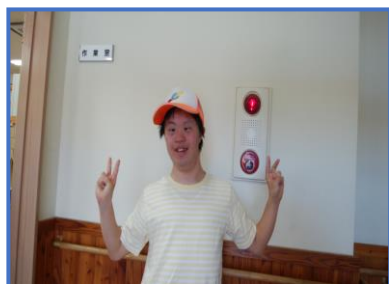
倉石 直紀さん (はなたば)

週1回の登所ですが、仲間の皆さんと仲良くやっていきたいです。よろしくお願ひします。

(職員のコメント)

水曜日だけの登所ですが、優しく穏やかな人柄で、仲間の皆さんと職員にも安心感を与えてくれる存在です。今後もよろしくお願ひします。

(支援員 松本 武典)



柴田 雄太さん (いなりやま共同作業所)

4月から作業所で働いています。頑張っている仕事はトレー入れです。テレビを見るのが好きです。これからも頑張ります。

(職員のコメント)

毎日トレー入れの作業や納品の仕事も頑張って行っています。作業所での生活にも慣れ、毎日他の利用者の皆さんと仲良く過ごしています。

(支援員 宮澤 礼)



五十嵐 くみ子さん (満天の星)

6月から満天の星でお世話になっています。やりがいがあって楽しいです。これから宜しくお願ひします！

(職員のコメント)

とても意欲的に仕事に取り組んでいます。趣味は箸置きを集めることだそうです。かわいいものや面白いものがあれば教えて欲しいそうです。

(支援員 三輪 泉希)



荒川 広志さん (満天の星)

6月1日より、満天の星に仲間入りしました。特に運動すること(水泳・歩行など)をやったり、出掛けたりしています。宜しくお願ひ致します。

(職員のコメント)

一般の会社で長年勤め上げて、第2の人生を満天の星でスタートされました。今は作業に慣れるようにと様々な仕事を経験しています。これから多くの作業で活躍いただけたらと思います。

(支援員 藤本 栄子)

新しい職員の紹介



竹村 小百合さん (いなりやま共同作業所)

4月からお世話になっています。初めてのことで、ご迷惑をおかけすると思いますが、皆さんと一緒にがんばりたいと思います。